

国際シンポジウム2025

多文化共生社会と言語教育

2025

2.24 月 10:15 ~ 17:00

(09:45受付開始)

基調講演 10:35 ~ 12:05

1. 戸崎典子氏

(株式会社アルプスビジネスクリエーション人材サービス部部长兼海外サポート課課長)

2. 王珠恵氏

(学校法人佐久学園佐久大学社会連携・研究支援センター
国際交流部門 客員教授/亞智威信有限公司 Asian Wise 董事長)

3. 林明佳氏

(国家教育研究院副研究員、課程及教學研究中心)



パネルディスカッション 15:20 ~ 16:50

モデレーター 堀井恵子氏 (元武蔵野大学教授)

・看護と介護の日本語教育研究会 西郡仁朗氏

(東京都立大学プレミアム・カレッジ特任教授)

・ビジネス日本語研究会 ウォーカー泉氏

(シンガポール国立大学語学教育研究センター所長)

・台湾協働実践研究会 羅曉勤氏

(国立台中科技大学教授)

参加費：800元 (予稿集データ、パンBOX付き)



参加申込

×切：1月19日(日)23時59分



高雄市大樹區學城路一段1號 國際大樓4樓



公益財団法人
日本台湾交流協会
Japan-Taiwan Exchange Association

口頭発表

13:30~15:05

発表番号	発表者（日本語）	発表タイトル（日本語）
A1	巽佳奕	在日中国人看護師の職業的アイデンティティの形成過程—TEAとLPPによる検討
A2	松田美穂	介護現場での日本語・介護教育に求められること
A3	五十嵐小優粒／塚田麻美	学習者の母語を用いた介入方法の提案：日本語習得に困難を抱える学習者を対象に
A4	道上史絵	就労場面におけるやり取りの質的研究－技能実習生を受け入れるA社の事例から－
B1	品川なぎさ／稲田朋晃／三枝令子	留学生の医療面接時の日本語に対する模擬患者の評価－誤用はどこまで修正されるべきか－
B2	稲田朋晃／品川なぎさ／三枝令子	専門知識および日本語の習得を目的とした医学プレゼンテーション活動の実践とその評価
B3	相場恵	介護福祉士養成教育における事例問題に関する授業実践—生活支援技術実技演習での一考察—
B4	丸山真貴子／木下謙朗	入国前の特定技能外国人（介護）への学習支援について考える－入国前研修を担当する教師と介護職・医療職の声から－
C1	小浦方理恵	日本の大学におけるグローバル人材育成を目指したキャリア教育の概観—先行実践の分類から今後の実践のあり方を考える—
C2	木村かおり／ロハヤティ・パイディ	日本マレーシア人財ブリッジ事業 —日本マレーシアを循環する人材育成に向けて大学・学生・企業で学び合う—
C3	鈴木美穂／加藤祥／服部紀子／當銘美菜／鈴木秀明	日本語を母語とする学生と交換留学生の日本語アカデミックライティング—共修の可能性—
C4	近藤彩	指定教科書をリソースとして用いる協働型授業デザインの提案
D1	潘寧／菅田陽平	大学の社会的責任を果たすための日本語教育の試みとは—台湾の大学の「日本語ニュース翻訳・編集」科目における聴覚特別支援学校とのPBL学習を中心に
D2	ファム・トユアンチン	他者との対話において聴くことは自己認識の変容につながるか？—協働学習を基盤とした読解授業の参与観察を通して—
D3	松本剛次／古賀万紀子／木村かおり	「人材育成」の観点から大学日本語教育実践を考える—能力指標を「参照枠」として主体的に利活用するために—
D4	齋美智子	「創造力を刺激する作文の教室活動—アート思考をヒントに—」
E1	武田聡子／長崎清美	就労者に対する日本語指導者に求められる資質とは
E2	栗原由加／関かおる	国際共修により漢字学習を「楽しく」する試み－漢字学習システムを使ったコミュニケーション活動—
E3	宝川明子	EPA（経済連携協定）に基づく外国人看護師候補生に必要な日本語能力
E4	伊藤佳代	日本人教員の非母語による授業の教授ストラテジー—科技大学デザイン学部の教員を例に
F1	深田絵里	地域日本語教育における住民同士の交流機会の創出～外国人散在地域のオンライン日本語クラスでの事例研究～
F2	服部明子／蔡喬育	留学生の学びと多文化共生の接点に関する一考察－台湾人交換留学生のケーススタディを通して－
F3	百瀬みのり	「ありがとう」と“Thank you”の差異
F4	黄思璋	役割語の視点からみた『オンナ言葉』についての研究

ポスター発表

12:10~13:25

発表番号	発表者（日本語）	発表タイトル（日本語）
P01	寅丸真澄／広瀬和佳子	ナラティブ・アプローチによる教師の実践的合理性の探究—授業実践の協働省察と自己省察を通して—
P02	広瀬和佳子／代田智恵子	文法・翻訳の意義を問い直す—フランスの大学での参与観察からみた日本語教師の意識変容—
P03	嘉数貴美恵／櫻庭律子／安柏林／馮慧婷	「クリティカル・リーディング」での学習者の内省を促す試み—1人の学習者のインタビューを通して—
P04	伴野崇生	「難民日本語教育」における「おとな」であることへの尊重に関するパターン・ランゲージ—法的地位、成人教育学、ライフステージ、キャリア形成の観点からの検討—
P05	天野裕子／道上史絵／比留間洋一／平野綾香	ベトナム語母語話者における漢越語の意味把握に関する量的研究—日本語語彙習得への応用可能性を探って—
P06	東平福美	協働の中で形成される日本語ボランティアの役割と役割期待：東京都内の事例研究
P07	吉永尚	医療福祉分野のオノマトペ教育について
P09	早川晶子	外国人看護師とより良いコミュニケーションをとって働くために必要な支援は何か—共に働く日本人看護師へのインタビュー調査から—
P10	アドゥアヨム・アヘゴ希佳子／鈴木綾乃／羅曉勤／鈴木秀明	ケースメソッド教授法によるディスカッションを体験した日本語教師は何に気づいたか—台湾でのワークショップを例に—
P11	中川健司／鈴木綾乃／半沢千絵美	留学生就職促進プログラム間の連携の試み
P12	多田苗美	交換留学生向け短期インターンシップ・プログラム実践—留学生の振り返りに焦点をあてて—
P13	内田さつき／北内直子／國井久美子／滑川恭平	外国人就労者の視点を入れたヒアリング項目再考—多文化共生社会の構成員として—
P14	堀井恵子	台湾の大学におけるビジネス日本語教育の教育内容—先行研究を概観して
P15	石丸春奈	『シャドーイングで学ぶ介護の日本語場面別声かけ表現集』を用いた発音授業の実践—介護福祉士を目指す留学生を対象として—
P16	加藤淳	留学生のキャリア意識を育むビジネス日本語教育を目指して—課題遂行型学習の試み—
P17	品田潤子／近藤彩	職務に密着した連続性のあるタスクによる学習プロセスの可視化
P18	小松麻美	日本語のことわざや慣用句の学習における物語創作の活用に関する実践報告
P19	荒井智子	地域における日本語教育と大学の役割—日本語教員養成コースの実習生の受け入れ先として—
P20	寺浦久仁香	留学生に対する日本語教師が地域社会で果たす役割—共生社会におけるメディアーターとしての役割—
P21	松本明香	留学生を日本人向けコミュニティに包摂する教育現場における日本語教員の役割とは
P22	張念祖	同異分野の研究計画書執筆に対するピア・レスポンス—発話機能の分析からみる相違点—
P23	首藤美香／阪上彩子	雑談における聴解困難点
P24	古屋憲章／古賀万紀子／小畑美奈恵／松本明香	日本語教育をとおしてどのような社会を実現するか—社会と日本語教育の関係に関する言説を手がかりに—
P25	小平めぐみ／神村初美	身体的回復（体調の回復）と「ことば」の精緻化—自立支援介護実践施設の事例から—
P26	神村初美／小平めぐみ	介護職の声掛けと利用者の言葉の変化—自立支援介護施設からの事例を中心に—
P28	楊佩蓉	ビジネス日本語に潜む日本人の思考様式-文化の違いを乗り越える
P29	義守大学学生	
P30	義守大学学生	
P31	義守大学学生	
P32	義守大学学生	

*プログラムは都合により当日予告なく変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。